



平成28年度  
みやの環境創造提案・実践事業  
活動内容

## みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 平成28年度は、前年度から継続して活動を行った2団体と、新たに応募のあった2団体、計4団体に対して活動支援を行いました“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

→ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

《人づくり：「もったいない」のころを持ったまちを目指して》

## 宇都宮市郊外の里山・農地の地域資源活用による地区活性化

宇都宮大学教育学部 総合人間形成過程高橋プロジェクト

宇都宮市郊外の城山地区の里山・農地をフィールドとして、地域住民とともに実践活動を行い、学生の視点から地域支援に向けた提案を行う（昨年度からの継続事業）。

### 主な活動内容

- ① 農作物づくり
- ② 農業の将来や農地の活用方法について検討
- ③ 農作業や観光客の休憩所となる小屋づくり
- ④ 育てた野菜を使った交流会の企画
- ⑤ SNSを利用した周知活動
- ⑥ どんど焼きをはじめとする地域行事への参加



小屋づくり



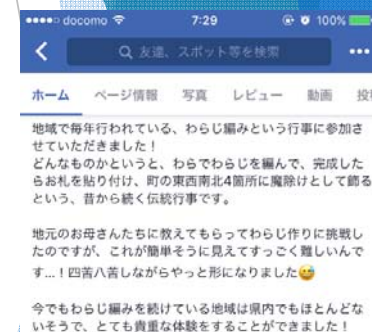
どんど焼きの準備

### ◆活動の成果や感想

- ・ どんど焼きをはじめとする各行事に参加したが、その場でこれからの環境問題について話し合うことも多く、地域行事が環境問題について考える場であることを知ることができた。
- ・ 農作物づくりで、食べられるが形が悪いなどの理由で廃棄となってしまう野菜を多く目にし、その解決策を図る手段として、農家と子ども食堂の橋渡しを行うことができた。



地域行事「わらじあみ」



フェイスブックを活用した周知活動

## 《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

# 環境に負荷をかけない都市農業の推進活動

宇都宮白楊高等学校 農業経営科

環境に負荷をかけない農業の推進活動に取り組み、地域に都市農業の持つ魅力や農業の持つ多面的機能などの情報を発信し、エコな農業の普及促進を行う（昨年度からの継続事業）。

### 主な活動内容

- ① メロン栽培による減農薬栽培の研究
  - 生物農薬の使用
  - 納豆菌による土壌改良（土壌かん水）
- ② 学校祭等における情報の発信



生物農薬スワルスキーカブリダニの散布



施肥の様子



交配作業

### ◆活動の成果や感想

- ・ 学校の馬術部からの馬堆肥の有効活用や生物農薬（スワルスキーカブリダニ）の散布などの体験ができた。
- ・ 農業体験の少ない都市部の子どもたちに都市農業の魅力や環境に配慮した農業を考察する機会を提供することには意義がある。今後も環境に配慮した農業の研究を継続して行っていきたい。



収穫されたメロン

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

## シルビアシジミ保全活動

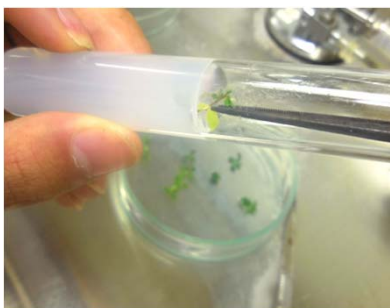
～組織培養によるミヤコグサの大量増殖法～

宇都宮白楊高等学校 生物工学科

絶滅危惧種に指定されているシルビアシジミを保全するため、食草であるミヤコグサを組織培養で大量増殖する方法について調査・研究を行う。また、現地での外来植物の除草作業などを行う。

### 主な活動内容

- ① 外来種の除草
- ② 絶滅危惧種の観察
- ③ ミヤコグサの培養と定植



組織培養による増殖



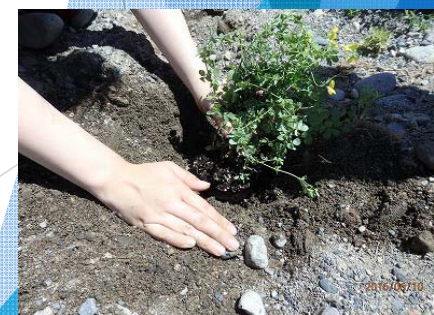
播種による増殖



絶滅危惧種のシルビアシジミ



外来種の除草作業



培養したミヤコグサの定植

### ◆活動の成果や感想

- ・ 現地での活動では、地域の自然やそれを取り巻く課題などを、自分たちの目で確認することができ、環境保全のあり方について改めて考えることができた。
- ・ 校内での活動では、種子と組織培養でミヤコグサを増殖させることができた。

## 《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

### 子どもと学ぶ生物多様性

宇都宮共和大学子ども生活学部 自然観察サークル

生物多様性を理解するための教材づくりを行い、子どもが親とともに身近な自然に触れ合うことで、生物多様性保全の理解につなげていく。

#### 主な活動内容

##### ①生物多様性理解のための教材作りと実践

- ＞ピラミッドマット・ミニの制作
- ＞パネルシアター制作と実演
- ＞「森のお話」の制作と実践

##### ②生物多様性に関する行事の開催

- ＞5月 春の自然あそび
- ＞8月 虫をたくさんつかまえよう
- ＞11月 秋の自然をあじわおう！

##### ③マメ科植物で生物多様性理解を深める試み

- ＞ アンケート調査
- ＞ マメ科植物の栽培
- ＞ 「マメの不思議」を伝える教材作り



栽培したハナマメの収穫

#### ◆活動の成果や感想

- ・ 今後は年齢に合わせた教材を増やして実践したい。
- ・ ピラミッドマットを使った学習方法については、外部からの問合せがあり徐々に広がりを見せているといえる。
- ・ マメ科植物については、引き続き生物多様性を伝える題材として扱いたい。



動物パネルの作成



パネルシアターの実演



森のお話の実演



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境政策課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2418

FAX 028-632-3316